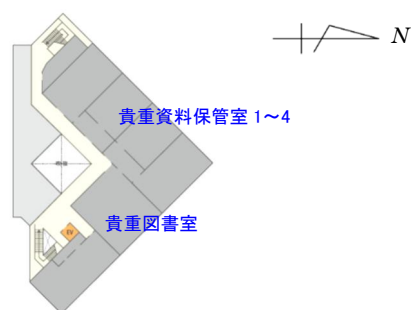


フロア案内



4 F 資料保管フロア



3 F グループ学習フロア



2 F マルチ学習フロア



1 F オープン学習フロア／書庫フロア



B F 地域連携フロア／書庫フロア



※福島大学は、福島日産自動車株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結し、附属図書館の愛称を「フクニチャージ図書館」としています。



福島大学附属図書館 (フクニチャージ図書館)

〒960-1293 福島市金谷川 1 番地
https://www.lib.fukushima-u.ac.jp/

<お問い合わせ>

福島大学 学術情報課

TEL: 024-548-8087 FAX: 024-548-2377
E-Mail: sabisu@lib.fukushima-u.ac.jp

(2024.4)

Fukushima University Library



福島大学附属図書館 (フクニチャージ図書館)

2024

“Vita Sine Litteris Mors Est” 「学問なき人生は死である」

古代ローマの哲学者・文人セネカ (B.C.4 頃～A.D.65) が残した名言です。図書館では、この言葉をエントランスロビーの壁面にアーチ状に掲げ、図書館で学問に励むことを促しています。

理 念

福島大学附属図書館は、学術情報基盤を支える図書館として学術情報・資料、教育研究の成果等を広く集積し、快適な利用環境のもとで提供する。蓄積された 知的情報資源を活用することにより、地域社会との連携と協力をさらに深めつつ、国内外からのニーズへも対応することを重視しながら、文理融合型の学術研究・教育活動の進展と自律的な学習活動への支援による人材育成に寄与することを使命とする。

目 標

- (1) 学生の自律的な学習活動と研究者の研究活動を支援するため、資料（図書・雑誌等）や電子的リソース（電子ジャーナルやデータベース等）の整備充実を図るとともに、貴重資料等のデジタル化を推進する。
- (2) 学術情報基盤として教育研究活動を支援するため、ラーニングcommonsをはじめとする施設の整備活用を推進する。
- (3) 利用者の知識や情報の発見可能性を高めるため、学術情報の有効活用と職員等の支援能力の向上を図る。
- (4) 教育研究成果の集積・発信により情報公開の推進と社会に対する説明責任を大学として果たすため、研究成果や学習教材等の電子的流通とオープン化を推進する。
- (5) 開かれた大学図書館として地域の活性化を支援するため、地域社会との連携を図る。
- (6) 東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故を後世に伝え、それに関する教育研究や地域貢献活動の更なる充実を図るため、関係資料を広く収集整理して公開する。

附属図書館運営委員会決定 (2022. 3. 16)

沿革

昭和 24 年 5 月	国立学校設置法の公布による福島大学設置に伴い、学芸学部図書館経済学部図書館をもって発足	平成 16 年 10 月 平成 17 年 4 月	日曜開館開始。平日閉館時刻を延長 「街なかランチ」附属図書館サテライトサービス開始（～平成 21 年 3 月）
昭和 26 年 12 月	附属図書館として発足、本館は経済学部に置き、学芸学部及び経済学部に分館を置く	平成 18 年 4 月 平成 19 年 12 月 平成 20 年 3 月	祝日開館開始 福島県内図書館横断検索運用開始 福島大学学術機関リポジトリ「FUKURO_フクロウ_」(FUKushima University RepOsitory) 公開
昭和 51 年 4 月	分館制度を廃止し、教育学部に教育分室を置く	平成 21 年 4 月	福島県立図書館と図書館利用の相互協力に関する協定を締結
昭和 56 年 2 月 4 月	金谷川キャンパスに附属図書館竣工 金谷川キャンパスに統合移転完了	平成 23 年 12 月	福島県立図書館及び福島県立医科大学図書館の 3 館による図書館相互協力協定「ふくふくネット」を締結
昭和 59 年 12 月	館報『書燈』創刊	平成 24 年 4 月	震災関連資料コーナー、ラーニングコモンズ開設
昭和 60 年 2 月 3 月	福島県内大学図書館連絡協議会発足 書庫増築竣工	平成 27 年 3 月 平成 29 年 8 月 令和元年 9 月	増築・改修工事竣工 「震災関連アーカイブ」を開設 資料展示コーナーに「東日本大震災 福島大学の記憶」を開設
平成 元年 2 月 平成 6 年 8 月 平成 9 年 7 月 平成 14 年 1 月	図書館業務のコンピュータ処理開始 書庫、マルチメディア室等増築 附属図書館ホームページ開設 大塚久雄文庫開設	令和 3 年 10 月 令和 5 年 4 月	土曜日の夜間開館を終了 福島日産自動車株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結
平成 16 年 4 月	国立大学法人福島大学が設置する附属図書館となる		

サービス

開館時間		
	授業期間中	休業期間中
月～金曜日	9:00～20:45	9:00～17:00
土曜	11:00～18:00*	11:00～17:00
日曜・祝日	11:00～18:00* <small>（日曜・試験期間の祝日）</small>	臨時休館
【休館日】5/3～6、12/27～1/5、夏季一斉休業、大学入学共通テスト、その他館長が管理運営上休館を必要と認めた日 *令和 6 年 4 月より、授業期間中の土日祝の開館時間を変更		

貸 出			
利用者区分	貸出種別	貸出冊数	貸出期間
学部学類生	一般貸出	10 冊以内	3 週間
大学院学生	短期貸出	20 冊以内	3 週間
	長期貸出	40 冊以内	3 ヶ月
学外者(卒業生等)	一般貸出	10 冊以内	3 週間
学外者(一般)	一般貸出	5 冊以内	2 週間

レファレンス
○文献検索の相談、所蔵その他の様々な事項の調査相談
○学生への学術情報リテラシー

ネットワーク・サービス
○各種データベース・電子ジャーナルの提供
図書館ホームページ https://www.lib.fukushima-u.ac.jp/

他図書館との相互利用
○他図書館からコピーの取寄せ・図書の借用
○他図書館を利用する際の紹介状の発行

地域へのサービス
○日曜・祝日開館の実施
○学外者への貸出・閲覧・レファレンス等利用サービス

福島県内図書館との連携事業
■ふくふくネット（福島市内 3 図書館連携サービス）
○福島県立図書館、福島県立医科大学附属学術情報センター（附属図書館）からの資料借用、両館への資料貸出
○両館資料の返却受付
■福島県内図書館横断検索
○福島県内の図書館の蔵書を横断的に検索するシステム https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=453

福島大学の研究成果公開事業
■福島大学学術機関リポジトリ FUKURO_フクロウ_
○福島大学の研究成果（教員執筆の論文等）を電子データで蓄積し、インターネットで発信するシステム https://ir.lib.fukushima-u.ac.jp/repo/repository/fukuro/
震災アーカイブ

■福島大学附属図書館 震災関連アーカイブ
○震災に関する記録等を発信するシステム https://www.lib.fukushima-u.ac.jp/repo/repository/shinsai/

統計

※令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として利用制限等を行った影響により、例年より利用が減少している部分がある。

蔵書冊数	
和 書	734,934
洋 書	237,679
合 計	972,613

年間図書受入冊数	
和 書	4,489
購 入	1,675
寄 贈	2,814
洋 書	209
購 入	140
寄 贈	69
合計	4,698

所蔵雑誌種数	
和雑誌	10,924
洋雑誌	2,732
合 計	13,656

年間雑誌受入種数	
和 書	795
購 入	283
寄 贈	512
洋 書	31
購 入	17
寄 贈	14
合 計	826

所蔵新聞種数	
和新聞	198
洋新聞	35
合 計	233

契約電子ジャーナル数	
18,034 タイトル*	
*令和 6 年度契約数	
サービス状況	
入館者数	180,486
館外貸出冊数	23,532
開館日数	309

学術機関リポジトリ公開	
6,095 件	
「ふくふくネット」貸出・返却	
貸出	39
借受	98
遠隔地返却 (県立図書館・医大窓口)	77
遠隔地返却 (本館窓口)	553

※遠隔地返却：所蔵館とは別の図書館への返却

図書館相互協力			
※現物貸借にふくふくネットは含まず			
文献複写(件数)		現物貸借(冊数)	
国内受付	852	国内貸出	478
海外受付	0	海外貸出	0
国内依頼	639	国内借受	202
海外依頼	1	海外借受	0

(以上、令和 6 年 3 月 31 日現在)

資料紹介

震災関連資料コーナー

東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多様な観点から扱った資料を配置。
図書・雑誌・視聴覚資料など 2024 年 4 月現在約 9,500 点。



大塚久雄文庫

1997 (平成 9) 年 4 月に受贈した故大塚久雄氏旧蔵の図書・雑誌・資料。図書 4,455 冊、雑誌 294 タイトル、資料 13,553 点、その他、ノート、原稿、講演テープ、色紙、写真、住所録等個人資料。
大塚久雄氏は、1907 (明治 40) 年生まれの経済学者。1996 年没。マルクスとヴェーバーという近代社会科学の巨人の理論を総合していく研究に挑み、「大塚史学」と呼ばれる方法論を確立した。

今野源八郎旧蔵書

本館が 1997 年 (平成 9) 年 5 月に受贈した故今野源八郎氏旧蔵の図書・雑誌・資料。図書約 5,600 冊、雑誌約 70 タイトル、資料約 14,000 点。
今野源八郎氏は、1906 (明治 39) 年福島県相馬市生まれの交通経済学者。1996 年没。生涯「鉄道・海運から道路・航空主体へ」と交通形態の変革を主張・実践し続けた。

西洋社会科学古典資料

約 500 点 1,200 冊。
・ボダン『国家論』(1579)
・ディドロ・ダランベール編『百科全書』(1771-80)
・スミス『国富論』(仏訳出版、1778)
・マルサス『人口論』(第 2 版、1803) など

